

# 第1回伊勢原市男女共同参画プラン策定委員会 会議録

〔事務局〕 人権・広聴相談課

〔開催日時〕 令和4年5月24日（火曜日）午後2時15分～午後4時15分

〔開催場所〕 伊勢原市民文化会館 展示室1・2

## 〔出席者〕

（委員） 和田委員、早川委員、片伯部委員、畠中委員、菅野委員、丹野委員、川畑委員、石委員 8名

（事務局） 人権・広聴相談課長、ほか2名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

## 〔配付資料〕

資料1 第3次伊勢原市男女共同参画プラン策定方針について

資料2 第2次伊勢原市男女共同参画プランの総括について

補足資料1 第5次男女共同参画基本計画 成果目標一覧

補足資料2 令和3年度審議会の女性委員の登用などの推進状況調査表  
<資料番号なし>

伊勢原市男女共同参画プラン策定委員会設置要領

我が家の家事・育児分担を考えるワークショップのチラシ

男女共同参画社会を考える情報誌 ききょうフォーラム通信 第62号

## 《審議の経過》

### 1 議題

#### (1) 委員長・副委員長選出

- ・委員長に和田委員、副委員長に川畑委員が選出された。

#### (2) 伊勢原市男女共同参画プランの策定について

- ・伊勢原市男女共同参画プラン策定の概要に関し、資料1「第3次伊勢原市男女共同参画プラン策定方針について」の項番1～4について、事務局より説明した。

#### (3) 第2次伊勢原市男女共同参画プランの総括について

- ・第2次伊勢原市男女共同参画プランの総括として、資料2「第2次伊勢原市男女共同参画プランの総括について」を事務局より説明した。

#### (4) 議題3 第3次伊勢原市男女共同参画プラン策定方針（案）について

- ・第3次伊勢原市男女共同参画プラン策定方針に関し、資料1「第3次伊勢原市男女共同参画プラン策定方針について」の項番5～9について、事務局より説明した。

#### (5) その他

・6月26日（日）に開催予定の「我が家の家事・育児分担を考えるワークショップ」について、事務局より案内をした。

※主な意見・質疑の内容は別紙のとおり

以上

## 議題（3）第2次伊勢原市男女共同参画プランの総括について

## 施策の方向1（男女共同参画の理解を深めるために）

## 【主な意見】

●転入や出産などのタイミングがあれば、自分から情報を取りにいき、たどり着くことができるが、ホームページが見つらなくて、なかなか必要な情報にたどり着かなくて、嫌になってしまうこともある。
●いくつかの分野で、プッシュ型で情報を告知・発信できる方法を議論していけたら良いと思う。
●新聞未購読世帯も増えてきたと思うので、広報いせはらの戸別配布について周知した方が良いと思う。
●子育て世代には、母親教室や母子手帳の交付時に広報いせはらを紹介できると良いと思う。

## 【質疑応答】

No.	質問	回答
1	いろいろな取組があるが、どのように情報を得れば良いか。	広報いせはら、市ホームページに掲載されるケースが多い。くらし安心メールが配信されるものもある。周知しているが、行き届いていないことは感じている。
2	くらし安心メールで情報収集するが、全ての情報が配信されていないという認識で良いか。	全ての情報を配信すると多すぎて、大事な情報が埋もれてしまう。重要な情報を配信している。
3	今後、広報いせはらを戸別配布できなくなったときのことも考える必要がある。今後の市からの情報発信方法など、内部で検討されているのか。	L I N Eアプリの利用を始めている。パソコン等の環境がない・使うことが難しい人には、紙媒体での周知方法になるかと思う。

## 施策の方向2（政策・方針決定過程へ女性が参画するために）

## 【主な意見】

●この分野は、男性がどれだけ家庭の中に入っていけるかが重要だと思う。女性の参画に向け、どのようにして男性の意識・認識等を変えて、家庭に目を向けさせることができるか、考えなければならない。
●社会の制度が、追いついてきていない。賃金については学歴や経験によっても差があり、男女共同参画だけでなく、人権・ダイバーシティの課題でもある。国による推進も必要だが、我々ができることを議論していきたい。
●審議会等での男女の割合も大切だが、参加したいと思う人が、積極的に参画できるための仕組みや情報の開示方法などを市には考えてもらいたい。

## 施策の方向4（家事・育児・介護を男女で共に担うために）

## 【主な意見】

●介護保険制度や休業制度などを知らない人が多く、制度を活用できていない。制度を知ってもらうことが必要。
●単純な啓発ではなく、ルールや仕組み、法整備の進捗状況なども啓発の中のプログラムに入れる必要がある。こういうシーンのときは、こういう制度が使える、といった案内を作っていると良いと思う。

- 会社でいう総務課的な、そこに電話をすれば、担当課に繋いでくれる部署が市役所にもあると良い。
- 男女共同参画推進委員会で、男女共同参画の枠組みの中に、市のサービス・仕組みが繋がってぶら下がっているように見える、仕組みを作っているよう提案しているが、コロナの影響もあり追い込みきれていない。この課題についても、今後5年かけてどういうところまで持っていくか、計画に盛り込んでいければいいと思う。
- 人権・広聴相談課や委員会だけでは、担いきれないので、周りを巻き込むことが必要。適切な部署へ案内できる人が必要で、サポーターのような人も作りたい。

**【質疑応答】**

No.	質問	回答
1	父子健康手帳について、記載内容・配布方法を知りたい。書かれている内容によって、お父さんたちの捉え方が変わってくると思う。	母子健康手帳の交付時に、第1子を妊娠した人を対象に配布している。記載内容は、次回の会議までに確認して、報告させていただく。

施策の方向7（心身の健康支援と性に関する理解の促進）

**【主な意見】**

- 小学生の子どもがいるが、昔より性について、フランクに子どもと話せるようになってきたと思う。担任の先生によって、普通に話しができる雰囲気になるか、気まずい雰囲気になるか変わってくると思う。
- 今後の課題として、男女の性に関する差のこと、性別特有の病気なども含めて、教育部門で考えてほしい。
- 医師や看護師、妊婦と一緒に話をする中で、身近なものとして考えられるようになってほしい。そういったことも検討してほしい。
- 男女共同参画の分野で取り組むこととして、家庭内で親子・夫婦で話し合うことができる環境を作る、夫婦でも高齢になってから体のことを気遣えるような話ができるには、どのような知識がベースにあれば良いのか、啓発・情報提供できると良く、議論の中で深めていければと思う。

**【質疑応答】**

No.	質問	回答
1	県内のパートナーシップ制度の状況を見ると、伊勢原市などいくつかの自治体が制度を実施していないようだ。検討はしているのか。	本市でも導入する方向で進めている。
2	男女の性差について、総合的な教育はどこまでできているのか。子どもの理解が深まれば、性に関するトラブルが減るのではないか。	担当課からの報告によると、小学4年生ごろに保健の授業、全学年で学活の時間に取り上げている。中学校では、心身の発達とこころの健康、病気の予防といったところで、性の違いを教えている。

議題3 第3次伊勢原市男女共同参画プラン策定方針(案)について

【主な意見】

- スケジュールについて、2月まである程度の日程を決めてもらえるとありがたい。